

# 部活動などの活躍

## 《パソコン部》

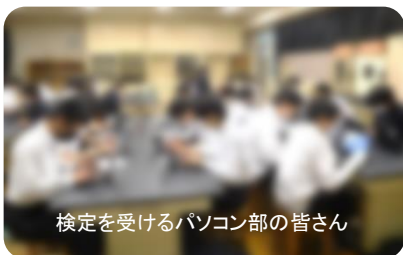
第20回毎日パソコン入力コンクール秋季大会  
第5部和文A中学生部門入賞

3年(1組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん  
(2組)〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇〇さん  
(3組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、  
〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇〇さん、〇〇 〇〇〇さん

2年(1組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇さん (2組)〇〇 〇〇  
さん、〇〇 〇〇さん (3組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、  
〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇〇さん (4組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇〇くん、  
〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇〇さん、〇〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん

## 第2部ローマ字部門入賞

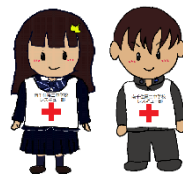
1年(1組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇 〇〇さん (2組)〇〇 〇〇くん、  
〇〇 〇〇さん (3組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん  
(4組)〇〇 〇〇くん (5組)〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん、〇〇 〇〇くん



検定を受けるパソコン部の皆さん



学校だより  
令和二年11月  
第110号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

## 大霜月祭実施の裏には…

校長 松田 公好

本校では10月28日(水)と29日(木)に大霜月祭が実施されました。その内容については本号の記事をお読みいただくこととして、ここではこの行事を実施するまでの過程など、表には出にくい裏話をご紹介します。

南二中では毎年1学期に運動会、2学期(10月末)に文化祭(霜月祭)を行ってききましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で1学期の運動会が実施できず、行事について大幅な見直しを余儀なくされました。

運動会と文化祭を例年の規模で実施することは無理であると考えられるなか、2学期早々に教員向けのアンケート調査を実施するなどして、今年度の行事の時期や内容について検討を重ねました。

室内で行う文化祭は感染及び感染拡大のリスクが高くなるため、多くの学校が文化祭の実施を見合わせ、屋外で比較的安心して感染防止対策が取りやすい運動会を計画していました。

そんな中、本校では教員から次のような強い意見が出されたのです。

- 本校の霜月祭は、生徒にとってとても大きな意味のある大切な行事であり、多くの生徒が心から楽しみにしている。だからどうしても霜月祭は実施してやりたい。
- 体育的な分野で活躍できる生徒もいれば文化的分野で活躍できる生徒もいる。何とかどちらの生徒にも活躍の場を与えてやりたい。

そして意見交換の結果、工夫して両方を実施しようということになりました。その後、実施方法について何度も検討を重ね、たどり着いたのがこの『大霜月祭』なのです。

実施が決まると「思い出に残る大霜月祭にしよう」という共通の目標のもと、生徒と教職員が一つになって取り組みました。

生徒会役員や実行委員を中心に生徒たちは様々なアイデアを出し、たくさんの工夫を凝らしました。事務室・主事室・給食室の方々は見えないところで協力してくださいました。

その他さまざまな要素がかみ合って、大霜月祭は大成功に終わりました。

前例もなく限られた期間にこの大きな行事を同時にこなしていくわけですから、大変なこともたくさんありましたが、終了後には先生方から「本当に楽しそうな生徒の姿を見て、(この形で)やってよかった」といった声が聞かれ、信じられないほど多くの生徒の感想文に先生方への感謝の言葉が見られたことを最後にご報告いたします。

## 笑顔がもたらす効果～松田校長先生～

### その4. 笑顔は周りに伝染する。

人の脳には「顔細胞」という、顔や顔のように見えるモノを瞬時に認識する機能が備わっています。これに、自分以外の個体の行動を見て自分が同じ行動を取っているかのように反応する脳の神経細胞「ミラーニューロン」の働きが加わり、私たちは人の表情に敏感に反応し、反射的にそれが伝染していきます。

具体的には…

笑顔の人につられて笑顔になると表情筋が刺激され、ドーパミンやエンドルフィン、セロトニンといった快に関する神経伝達物質が分泌されて気分がよくなるのです。すると、相手もまた笑顔につられて笑顔になるので、お互いにいい気分が伝染するということです。

つまり、笑顔は循環し、増幅していくのです。

## 南千住マイスターのコーナー

小塚原回向院には、前号で紹介した吉田松陰の他にも安政の大獄の刑死者の墓があります。橋本左内(はしもと さない)もその1人です。橋本左内は、福井城下の藩医の長男として生まれました。幼い頃からその才覚は目を見張るものがあり、藩医を継いだ後も江戸に出て梅田雲浜や藤田東湖、かの有名な西郷隆盛らと交流をもちます。その後藩に呼び戻され、藩主松平春嶽の側近という役に就きました。安政四年(1857年)に江戸詰りとなり、再び江戸に戻ると、朝廷を尊重し、幕府の独断ではなく、諸侯による話し合いで事(日米修好通商条約など)を決断すべきといった自論を展開したり、日露同盟論、西欧の先進技術の導入など、世界的視野に立った国家思想を語り、幕府のいや、この国の改革を主張します。さらに、そのとき持ちあがっていた一橋派と南紀派との將軍継承問題にも巻き込まれます(左内は一橋派)。これらの行動が、安政の大獄による弾圧の対象となり、安政五年(1858年)10月に捕縛され、翌年10月7日、斬首となり南千住回向院に葬られたのです。わずか26年の生涯でした。昭和8年、この墓を守り、左内の功績を広めるために套堂(さうどう)やどうがつくられました。その後の改修のとき、回向院にあった旧套堂は荒川区に寄贈され、平成21年にふささと文化館前に復元され、中には左内の銅像が飾られています。

ところで左内は、わずか数え15歳の時(現在の中学2年)に、自らを奮立たせるための『啓発録(けいはつろく)』を著しています。その冒頭には「5つの大事業が書かれてあります。それは、①「雅心を去る毎日遊び呆けて楽な方へ」と暮らし、何かと言えは親に頼るうとするような子供じみた心は、早く捨てる事。②「振気」人に負けたくないという気持ち大切に、自分を奮い立たせる事。③「立志」目標をはっきりと決めて、それに向かって努力する事。④「勉学」学ぶ事とは、本を読んで知識を増やす事ではなく、先人に習って、自分も負けまいと努力し、真の知識を高めた心で鍛える事である。⑤「朋友」を扱ふ」自分を慕ってくれる友人は大切にしなければならぬ。また、自分の欠点を指摘してくれる厄介な友人を大切にしたい。友人の見習うべきところは見習って、ヒントを与えてくれる深い言葉とは感じませんが、一度全文を読んでみてもいいかもしれませんね。

## 『南千住と歴史上の人物 その5』 『安政の大獄(2) 橋本左内』



ふるさと文化館  
橋本左内像・套堂



# 大霜月祭

## 文化の部



## 体育の部

10月29日(木)に**体育の部**が開催されました。晴れ渡る青空の下、号砲とともに、体育の部実行委員と生徒会本部による入場行進からスタート。運動場中央では、**前生徒会長の〇〇 〇〇さん(3-1)**から**新生徒会長の〇〇 〇〇くん(2-1)**へ校旗が手渡され、生徒会本部の引継ぎも行われました。

開会式では、**実行委員長の〇〇 〇〇さん(3-2)**が「南二魂で正々堂々と競い合う」と力強い声で選手宣誓。クラス優勝を目指して、全校生徒の熱い戦いが始まりました。

競技は、**100m走(1年選抜)、1000m走(女子選抜)、1500m走(男子選抜)、100m走(2年選抜)、1年全員リレー、100m走(3年選抜)、2年全員リレー、3年全員リレーと続き、最後に各学年の選抜選手による学級対抗リレー**が行われました。各クラス趣向を凝らした応援でマスクをしながらも声の限りに声援を送り、大いに盛り上がりました。

その後、生徒会本部主催による部活動対抗リレーも行われ、会場は笑いと歓声に包まれました。



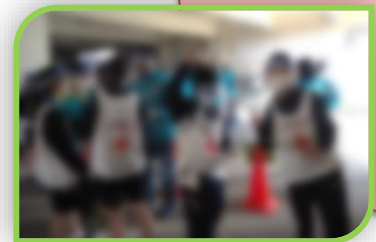
1年優勝 3組  
2年優勝 1組  
3年優勝 3組



## わくわく街歩き探検隊

11月15日(日)に、「わくわく街歩き探検隊」が行われました。これは毎年南千住二中生がボランティアガイドとして地域の史跡・文化財の歴史や言い伝えなどを紹介するもので、今年は感染症拡大防止のため、参加者を限定して行われました。南千住二中からは2年生8人がガイド役として参加。4グループに分かれて、それぞれ小学生と一緒に、二瑞小からスタートして、

**円通寺、都電三ノ輪橋駅、荒川総合スポーツセンター、赤レンガ、素盞雄神社、庚申塔**を巡り、二瑞小へ戻ってくるコースを回りました。南千住二中生は日頃の地域学習の成果を発揮して、クイズを加えたり、史跡にまつわる物語を交えるなどの趣向をこらして説明。参加した小学生や引率の地区委員の皆さんからは、「楽しい！わかりやすい」と大好評でした。ボランティアガイドを務めた皆さん、お疲れさまでした。



今年のスローガンは「**おかえり青春、ようこそ大霜月祭**」。感染症拡大防止のため、さまざまな行事が中止となる中、これまであまり体験することができなかった青春を心から楽しもう、という願いが込められています。2日間にわたって行われた大霜月祭の1日目は10月28日(水)の**文化の部**から始まりました。

この日を目指して、わずか2週間という短い間でしたが、全校生徒が劇の練習や大道具・小道具、音響・照明などの準備、部活動による発表の練習を行い、すべてをビデオに収録。各クラスで他学年の発表を鑑賞し、それぞれの学年主体の発表はアリーナの大画面で鑑賞しました。ビデオによる舞台発表の演目は、**生徒会新旧本部と実行委員会の合作による「大霜月祭開会式」、国語科の「意見発表」、英語科の「外国語スピーチ」、1学年の地域学習劇「OH MY GOD～四代目 神の挑戦～」、2学年の地域学習劇「Phantom Ball (妖怪玉)～南千住を救え！～」、3学年の地域学習劇「祈・疫病退散と南千住の偉人たち」、朗読部と美術部がコラボした「ショートストーリー」、吹奏楽部による「銀河鉄道999他」の演奏の8本。どれも発表者の堂々とした姿と工夫された演出や効果で、ビデオということをおぼろげに忘れるほどの臨場感にあふれた素晴らしい内容でした。上映後には、毎回大きな拍手がわき、「面白かった」「楽しかった」という声のいたるところから上がっていました。**



ビデオ鑑賞の間には、各学年が同じ時間帯に重ならないようにして、展示物の見学が行われました。今年からは**1学年からは、「クラス旗・地域学習」、2学年からは「調べる学習、妖怪ファイル」、さらに教科からも国語科、社会科、美術科、家庭科、英語科から多くが出品されました。**また部活動から、**パソコン部、フラワーアレンジメント部**、特別展示として、新しく制作された「**千住大橋模型・地域学習マット**」が玄関ホールに展示されました。立ち止まって作品を手にしたたり、友だちと作品について話し合ったり、ビデオ作品の前に座り鑑賞するなど、それぞれが思い思いに展示作品を楽しんでいる様子が見られました。限られた時間の中で、全員が力を合わせて完成した作品の数々はどれも素晴らしいものでした。



大霜月祭実行委員会の皆さん  
お疲れさまでした！